

高齢になると  
腔の自浄作用が  
低下するのはなぜ？



# 膣の自浄作用は国試にも出る！

第105回 午前77問

萎縮性膣炎に伴う状態について正しいのはどれか。

---

1. 性交痛
2. 白色の帯下
3. 膣壁の肥厚化
4. 膣の自浄作用の亢進
5. エストロゲン分泌の増加

# 膣の自浄作用は国試にも出る！

第105回 午前77問

萎縮性膣炎に伴う状態について正しいのはどれか。

---

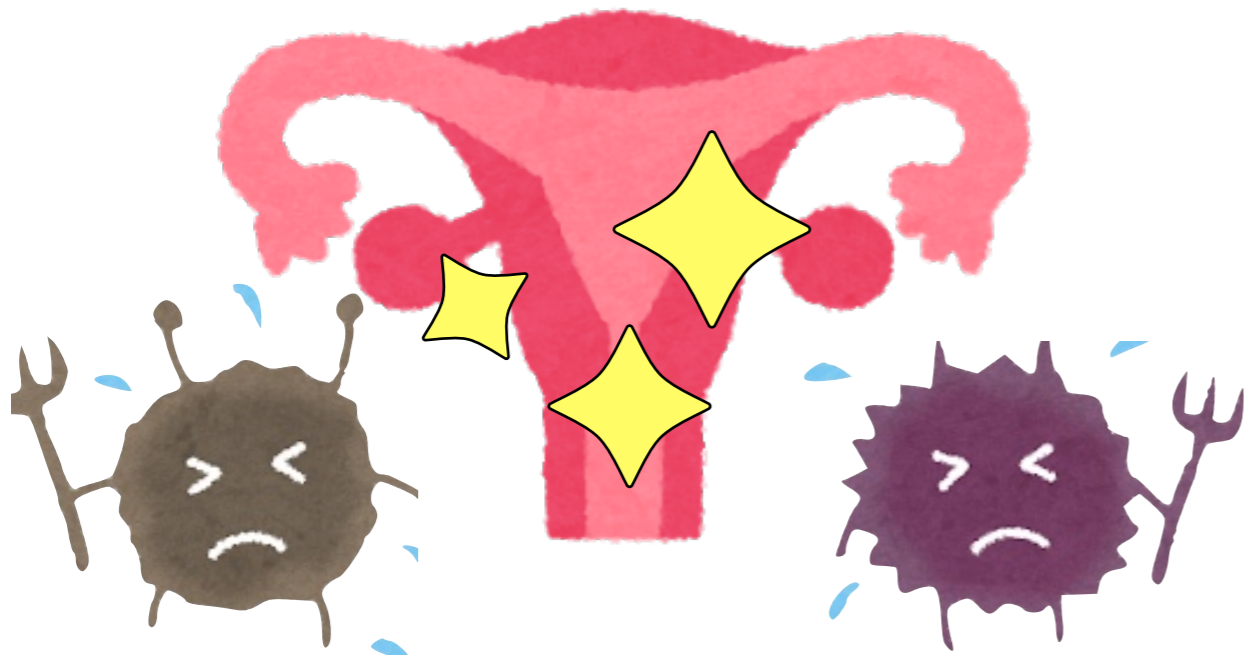
1. 性交痛
2. 白色の帯下
3. 膣壁の肥厚化
4. 膣の自浄作用の亢進
5. エストロゲン分泌の増加

# 膣の自浄作用ってなに？

膣内を酸性に保つことで、酸性に弱い菌をブロックすること

自浄作用 **強**

膣内が酸性に保たれている



自浄作用 **弱**

膣内が中性になって、菌が侵入しまくり！



膣内が酸性に保たれることで菌をブロック

してるのはわかったよ！

でも、どうして酸性に保つことができるの？



それはね、エストロゲンのおかげなんだ！

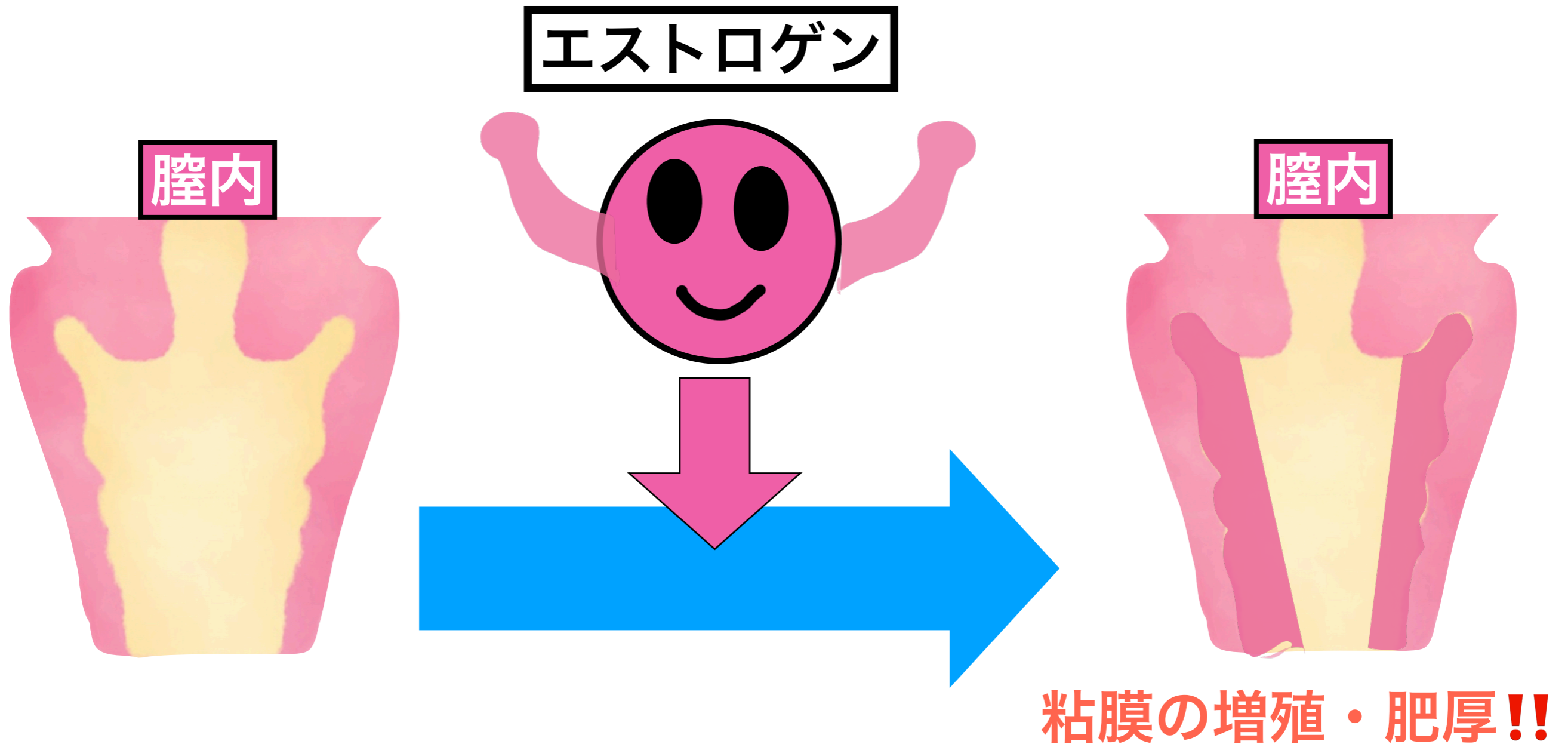
どーゆーことなのか見ていこう！



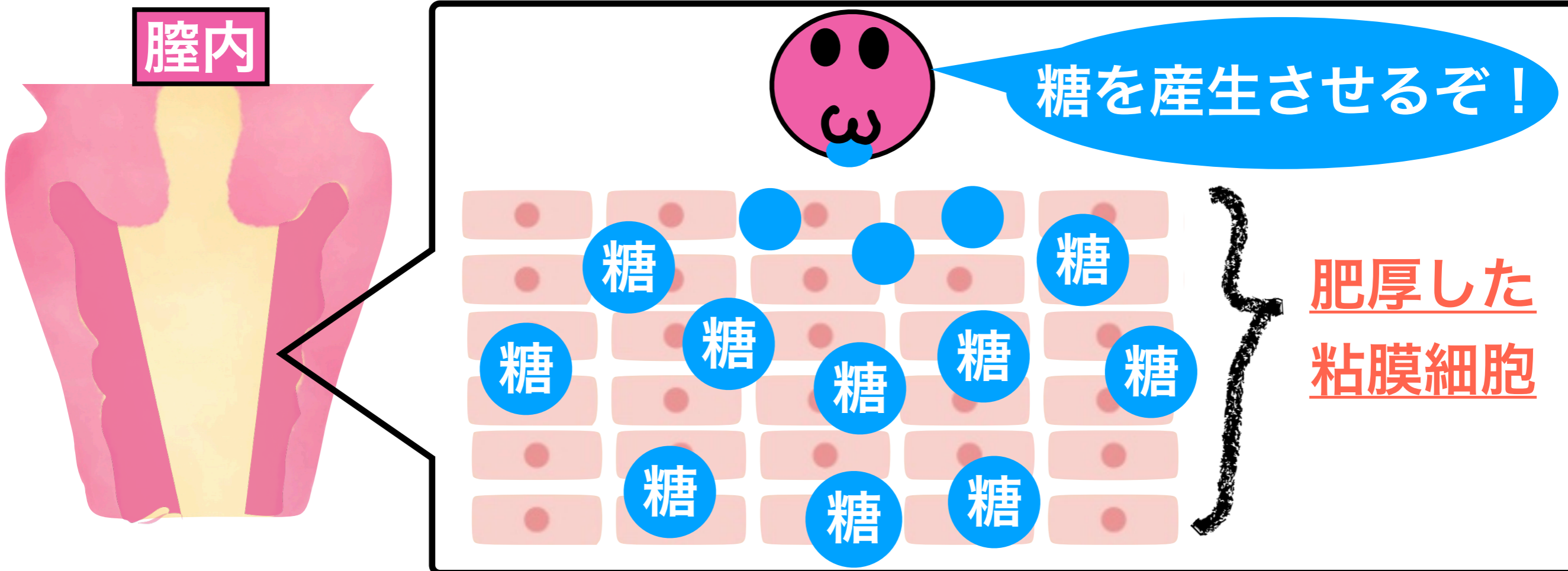


# エストロゲンの働き①

- エストロゲンの作用の1つに「腔粘膜の増殖・肥厚」があります

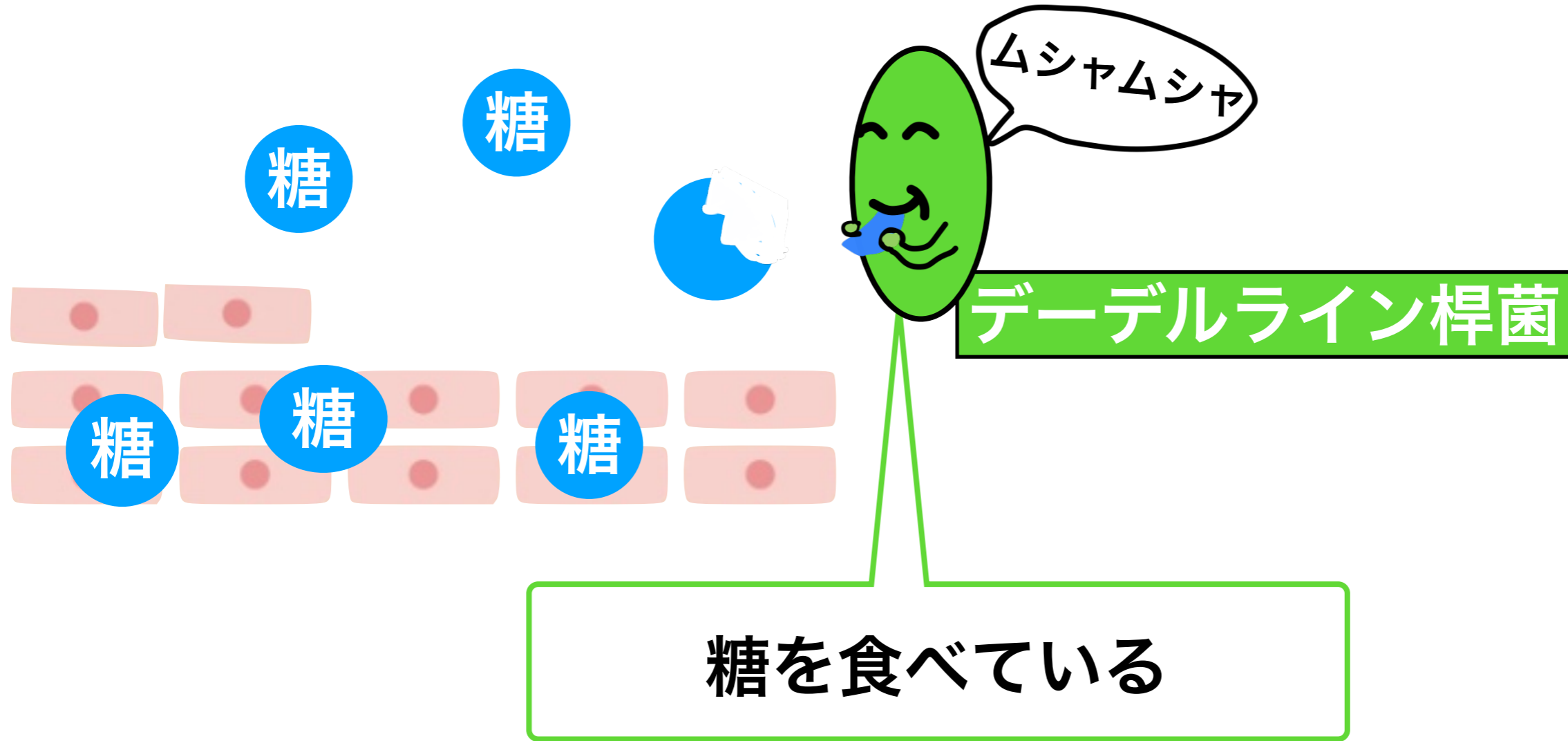


# エストロゲンの働き②



さらに、増殖・肥厚した粘膜上皮細胞には  
大量のグリコーゲン(糖)が産生されます

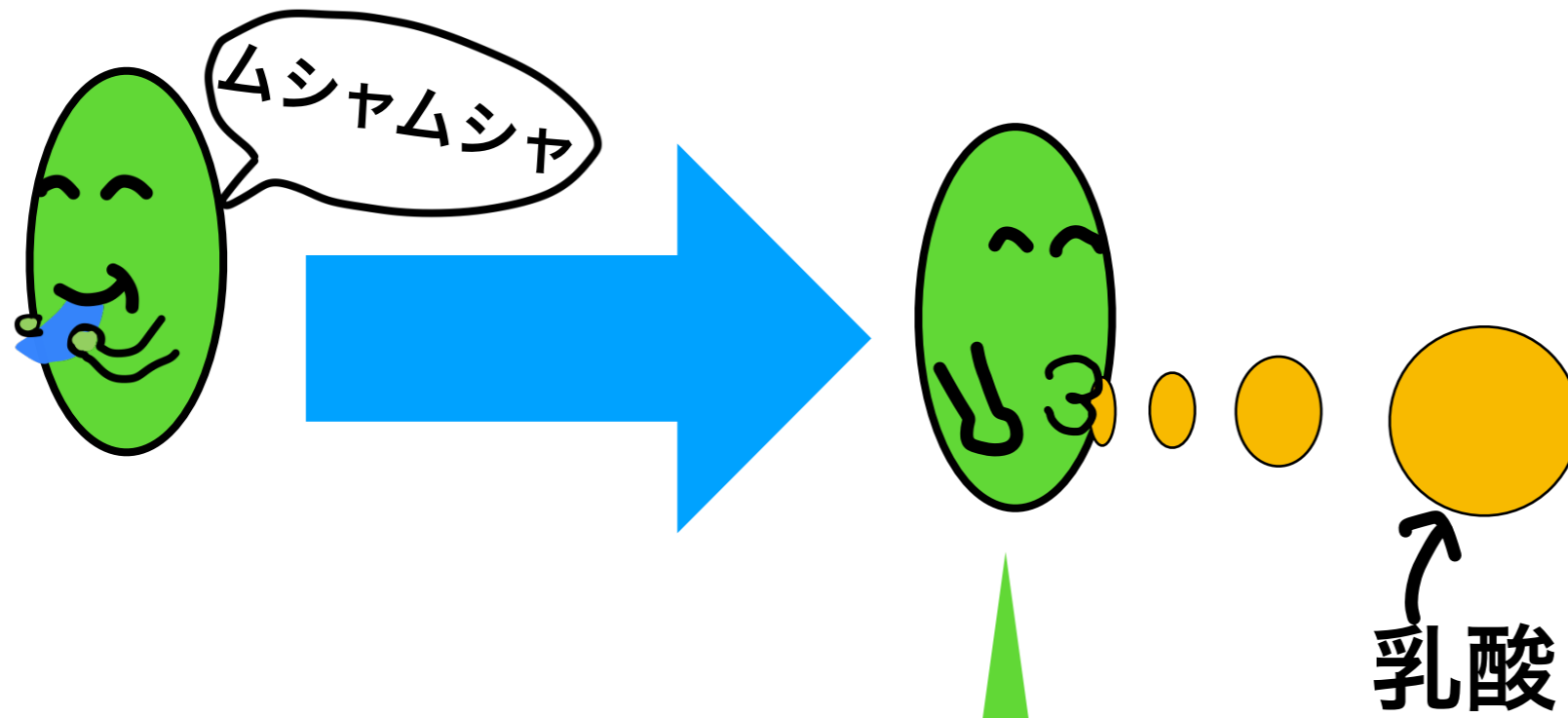
# 糖の行方



糖は腔の常在菌であるデーデルライン桿菌に  
食べられてしまう！



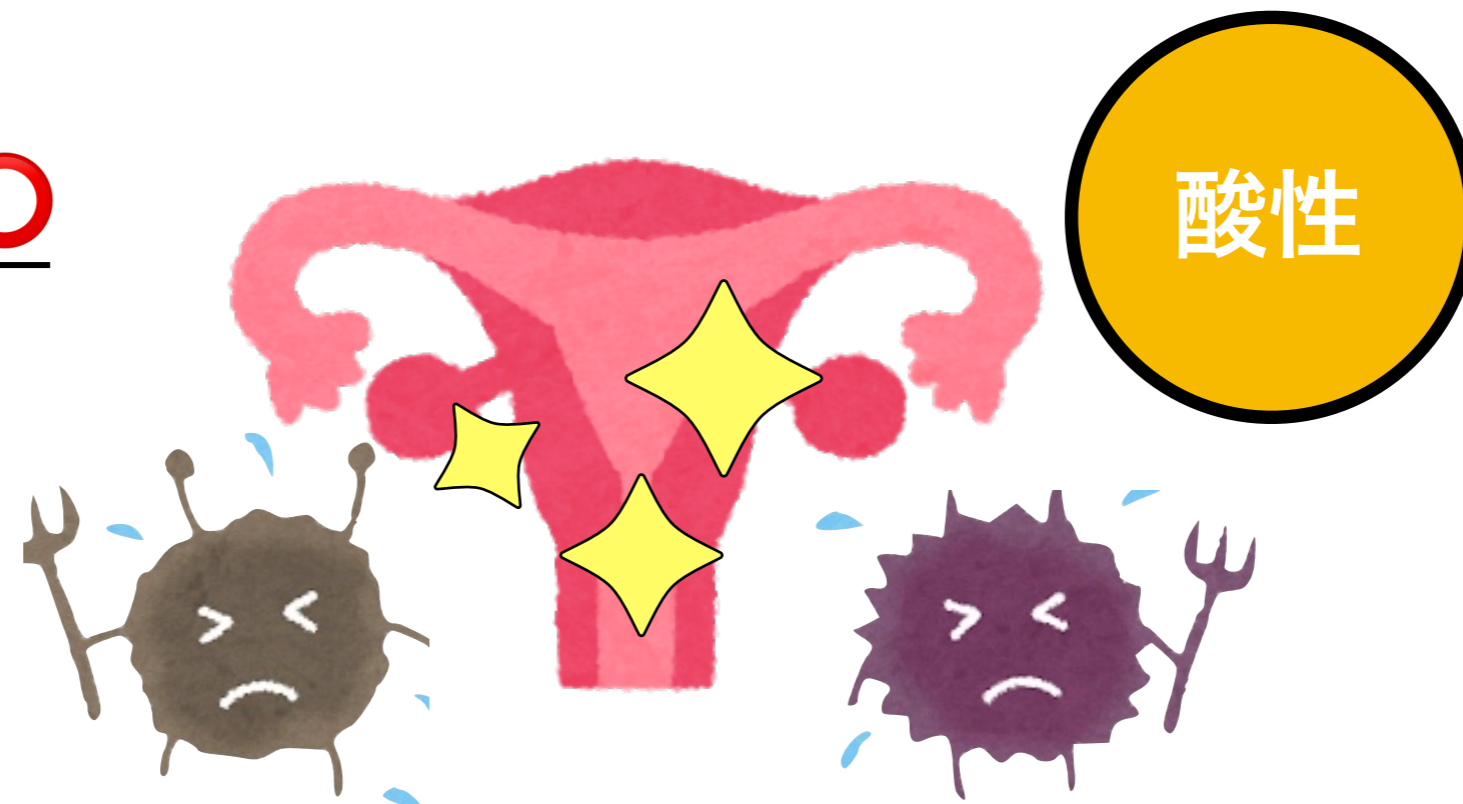
# デーデルライン桿菌は乳酸を産む！



糖を乳酸に変換だー！

# 乳酸により膣内が酸性に保たれる！

自浄作用○

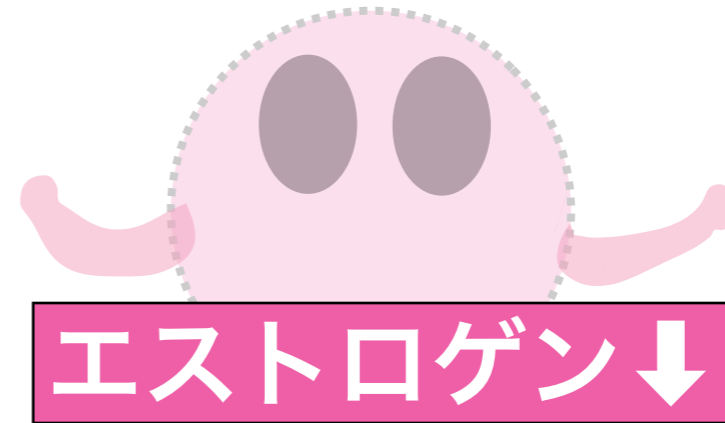


乳酸は酸性の物質です！

そのため、乳酸によって膣内が酸性になります！

# 高齢者になるとエストロゲンが減少

- 高齢になるとエストロゲン分泌量が減少します



- 膣粘膜の増殖・肥厚
- グリコーゲン分泌量
- デーデルライン桿菌による乳酸の産生

これらが行われ  
なくなる😭

# ちなみに老人性膣炎は…

膣の潤いがなくなっていて、外陰部や膣が乾燥して、  
雑菌が繁殖するために起こる炎症！

- ・ 膣粘膜の増殖・肥厚
- ・ グリコーゲン分泌量
- ・ デーデルライン桿菌  
による乳酸の産生

膣粘膜が薄くなる  
自浄作用低下

細菌に感染しやすくなるので

老人性膣炎

# 解説！

第105回 午前77問

萎縮性腔炎に伴う状態について正しいのはどれか。

---

1. 性交痛
2. 白色の帯下 感染しているので黄色っぽい膿性おりもの
3. 腔壁の肥厚化 エストロゲン× 腔は薄い
4. 腔の自浄作用の亢進 エストロゲン× 自浄作用↓
5. エストロゲン分泌の増加